

中学校 道徳 実践事例①

主題名 だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して

(第1学年 C-10 遵法精神、公德心、C-12 社会参画、公共の精神)

教材名 「ごみ箱をもっと増やして」(東京書籍「新しい道徳1」)

◆本時の概要

街にごみ箱を増やすかどうかについて話し合うことを通して、よりよい社会とは何か多面的・多角的な視点から考えを深め、社会の一員として自分に何ができるのかを考えさせることをねらいとして実践を行った。

導入部分では、生徒に本時のねらいを伝え、見通しをもって本時の学習過程が展開できるように環境を整えた。展開部分では、3人の投書から、それぞれがよりよい社会を目指すためにどんな思いをもっていか全体で共有し、共通理解を図った。展開後半では、Google スライドを活用し、「よりよい社会の実現に向けて必要なことは何か」について端末上で他者参照をしたり、他の生徒の様々な考えに触れたりしながら、主体的に考えを深めていくことができた。

1 ねらい

街の中にごみ箱を増やすかどうかの話合いを通して、公德心についての考えを深め、誰もが気持ちよく生活できるよりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。

2 教材について

本教材は、新聞への投稿と、それに対する3つの意見で構成されている。投稿者が短期留学で行った米国にはごみ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じている。ごみを持ち帰る啓発ポスターも目にするが、草むらなど人目に付かないところには、ごみが捨てられている。このことから、街にごみ箱をもっと増やした方がいいのではないかと投稿者は思っている。この投書に対して観光名所や公園には設置してほしい、ごみ箱の完全撤去を望む、環境を守るためにごみは持ち帰ろうという意見が寄せられた。

本教材の投稿者の考えや投書された意見を基に、よりよい社会とはどのような社会か、その実現に向けて必要なことは何かを考え、話し合う活動を行い、生徒一人一人が社会の一員として自覚をもち、公德心を育むためのきっかけとなるようにしていきたい。

3 生徒の実態

本学級は、基本的な生活習慣は身に付いており、明るいクラスである。授業に対しても前向きな生徒が多く、発言も多い。話合いの場では、積極的にコミュニケーションを取り合い、お互いの意見を交換できる。

学園祭の取組では、仲間に対して励ます声掛けが多く聞かれ、お互いを尊重し合いながらよい取組ができた。合唱や体育祭においても充実感や達成感を得られる取組や結果となり行事や日常生活を通してクラスの関係性は一層深まったと感じる。

成功体験を重ねた現在では、何事にも前向きに取り組んでいるが、今後は、学校生活の中で育んできた社会性や、公共の精神を更に地域社会へと広げていくことが必要である。そこで、本授業を通して、「よりよい社会とは何か」、「社会の一員としてどのような気持ちが必要なのか」というところを考えさせていきたい。

4 本時の実際

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導入 (8分)	<p>・「今日は『よりよい社会を目指すに当たって、あなたはどんなことができるだろうか』ということについて考えていきます。」</p> <p>○「みんなが考える『よりよい社会』とはどんな社会かですか。」</p> <p>・事前に読んでおいた教材「ごみ箱をもっと増やして」の内容を確認する。</p> <p>・大学生の投書、A、B、Cの考えの確認。</p> <p>→大型提示装置を使い、3人が考えるよりよい社会について共有する。</p>	 <p>・教科書を振り返りながら内容を再確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教材「ごみ箱をもっと増やして」</p> <p>「日本のごみ箱をもっと増やしてほしい」</p> <p>18歳 大学生からの投書</p> <p>ごみ箱をもっと増やすことで、人目につかないところに捨てることはなくなる。街に放置されるゴミがなくなる。</p> </div>	<p>・本時ではごみ箱を増やしたほうがよいかどうかの問題を通して、よりよい社会とは何か、そのためにできることは何かについて話し合うことを確認する。自分の考えの根拠まで考えることを伝える。</p> <p>・パワーポイントに3人の考えをまとめておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教材「ごみ箱をもっと増やして」</p> <p>3人が考えるよりよい社会とは？</p> <p>Aさん…景観がきれいな社会</p> <p>Bさん…ルールを守り、心がけてよい行動ができる社会</p> <p>Cさん…環境を守り、日本の美意識が広がっていく社会</p> </div>
展開 (30分)	<p>○「A、B、Cさんの中で、一番社会のことを考えているのは誰ですか。」</p> <p>(補)「3人はどんな社会を目指していますか。」</p> <p>「みんなが考える『よりよい社会』ってどんな社会ですか。」</p> <p>◎『よりよい社会の実現』に向けて、一番必要だと思うことは何ですか。」</p> <p>(補)「みんなが考えていた『よりよい社会』とどのような関係がありますか。」</p>	<p>※個人→周囲の人と意見交換</p> <p>・それぞれの目指す社会を考え、自分ではどんな社会を目指すのかを考える。</p> <p>・3人ともよりよい社会を目指すにはどんな方法があるか考えていた。</p>  <p>※個人→共有→個人→共有を繰り返していく。</p> <p>○Google スライドに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナーを守る。 ・よりよくする意識をもつ。 ・思いやりを大切にする。 ・環境を守る。 ・差別をしない。 ・自分勝手なことをしない。 ・ゴミを出さない、分別する。 ・誇りをもって行動する。 ・ボランティア活動をする。 ・いじめをしない。 ・ゴミの分別、ごみを拾う。 	<p>・個人で考える時間を確保する。</p> <p>・自分とは違う意見を参考に考えを深めさせる。</p> <p>・ごみ箱問題だけに焦点を当てさせない。</p> <p>A…見た目がきれいな社会</p> <p>B…心がけてよい行動ができる社会</p> <p>C…日本の美意識を大切にする社会</p> <p>・よりよい社会とは人それぞれであることを確認する。</p> <p>・導入と同じ発問をして、改めて自分の考えるよりよい社会とは何かを考えさせる。</p> <p>・他の人の意見を参考にしてもよい、席から離れてもよいことを伝える。</p> <p>・それぞれの考えが深まるように机間巡視を行い、停滞している生徒を中心に支援する。</p> <p>・気になった意見、参考になった意見にはコメントをさせる。</p>

終末 (12分)	・今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことをGoogle スプレッドシートに書く。		・まとめを書くまでに考えた過程を書かせるように声掛けをする。 ・Google スプレッドシートに書いたことを共有させる。
-------------	---	---	---

5 評価の視点

- ①よりよい社会とは何かについて多様な意見に触れながら、多面的に考えを広げている。
- ②社会の一員として自分に何ができるのかを考え、記述している。

6 評価の実際

①について

今回はワークシートを Google スライドで作成し、共有したことで多くの意見に触れさせることができた。その結果「一人一人の意識について」「周囲との協力、思いやりについて」「環境について」など、様々な角度から考えられる生徒が増えていった。また、**コメント機能を活用**し、友達の意見に対して共感するコメントや「どうしてそう思うのか」、「そのためには何を大切にすればいいか」など、お互いが問い返しや深めるコメントを書くことによって、**生徒同士で道徳的価値についての理解を広げたり、深めたりする姿**が見られた。

一方で、「ごみ箱の設置方法について」「ポイ捨てについて」など、方法論や教材の中で起きた事象のみの考えに終始する意見が多く見られた。教材をきっかけとして、**よりよい社会をつくるためには何が大切なのかについて具体的に考えを深められるように問いを設定していくことが課題**である。

ねらいを達成できた生徒の感想	ねらいに至らなかった生徒の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・あまりよりよい社会について考えたことがなかったから、今日考えてみて自分にできることがたくさんあることが分かった。これからはよりよい社会をつくることを意識していこうと気持ちの変化が生まれた。 ・助け合ったり、社会を変えようとしたりすることも大事だと思うけど、まずは一人一人が意識して自分を変えようと努力することが大事だと思った。 ・他の人は、助け合いが大事だという意見が多く、同じ社会で生きている以上、人々が協力して生活することが大事なことだと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を大切にすることが大切だと思った。 ・ポイ捨てをしないためにゴミ袋を持参するなどして自然を大切にする。 ・ごみはちゃんと捨てた方がよいということ、どうすればよりよい社会になるか改めて考えることができた。

②について

ワークシート、振り返りシートから生徒の考えから、多くの生徒が「自分自身がどんな行動ができるのか」を記述することができた。振り返りの記述では、「この授業を通して、行動に移すことが大事だと思った。これからは私達が生きていく未来なので地域の人達と協力することや、チームワークも大切に、本当の「よりよい社会」をつくっていきたい。」「自分の意見だけでなく、周りの人の意見

も尊重できるようにしていきたい。」「よりよい社会にするためには、周りの環境を変えて見ることが一番必要ではないかと考えた。」「よりよい社会を目指すために環境づくりからはじめることだと考え

た。」という意見が出た。

今回のねらいとする自分事として考えることについては多くの生徒が達成できていたが、行動面にとられるのではなく、公德心や遵法精神など、道徳的実践力の育成に重点を置いた授業づくりの重要性を再認識することができた。

ねらいを達成できた生徒の感想	ねらいに至らなかった生徒の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を通して、行動に移すことが大事だと思った。これからは、私たちが生きていく未来なので地域の人達と協力することや、チームワークも大切にして、本当の「よりよい社会」をつくっていききたい。 ・自分の意見だけでなく、周りの人の意見も尊重できるようにしていきたい。 ・よりよい社会にするためには、周りの環境を変えてみるのが一番必要ではないかと考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守っていくためには、個人個人の心がけが大切。 ・これからは、自分の考えたよりよい社会のために自分ができていることをしていきたい。 ・これからもよりよい社会を目指すに当たって何ができるかもっと考えたい。

7 実践を振り返って

○成果

- ・1人1台端末を使い、「一人で考える」「他者参照をする」「仲間と学ぶ」など生徒が学び方を選択できるように環境を整えたことで、生徒が主体的に学習活動に取り組むことができた。
- ・大型提示装置で活動の流れや時間を表示しておいたため、タイムマネジメントができていた。また、生徒も「1人で考える時間」「交流する時間」のそれぞれの時間を確保しながら、考えを深めることができた。学習者の考える時間、話し合う時間を保証することができたため、生徒の考えにも変化が見られた。
- ・Google スライドのコメント機能を使ったことで自分の意見に自信をもつことや、学びの広がり・深まりを促すことができた。
- ・机間指導を行い、考えが停滞している生徒に意図的に声掛けを行い、支援することができた。
- ・授業の最後に振り返りの時間を保証することで、自分の考えをまとめ、今日の授業から考えたことを今後どのように生かしていくのかを考えさせることができた。

●課題

- ・本授業では、Google スライドでワークシートを作成し、2つの質問について書かせるように作ったが、考えの変容が授業後でも確認できるように左右に分けるなどの工夫する必要があるがあった。
- ・生徒同士の対話の場面は多く見られたが、「自分の考えを説明する力」や、「相手の意見を受け止めて答える力」が足りない場面が見られたので、サポートする声掛けができれば良かった。
- ・「よりよい社会とは」について、一人一人の意見がまとまらないままワークシートに入ってしまったため浅いコメントが多く見られた。道徳的価値の理解を深めた上で話し合うことが大切だと感じた。
- ・まとめを Google スプレッドシートに書かせたが、不慣れなため、開く→入力までの少し時間がかかってしまった。
- ・話し合いについても、まとめについても習慣化を図ることで生徒の学びの質も向上できると感じた。

※コメント機能の活用

あなたが考える「よりよい社会」とはどんな社会ですか？

住んでいる人が安全で、誰もが暮らしやすい社会

よりよい社会を目指すにあたって、あなたはどんなことができますか？

- ・交通ルールなど、一人一人がルールを守って生活をする。
- ・ゴミのポイ捨てなどをしない。
- ・困っている人がいて自分が助けられそうだったら助ける。

私も同じような意見です。

誰かが安心して暮らせるのが一番だと思います。

安全なら安心して暮らせるからいいと思う

同じ感じです！暮らしやすさとかは大切だね

- ・ 他者の考えに対して積極的にコメントを記入している。
- ・ 自身の考えに共感を得られることで意欲的に思考することが可能となる。
- ・ 他者の意見にコメントを記入することによって自身の考えを広げたり、深めたりすることが可能となる。
- ・ コメントから自身の考えを見つめ直し、思考の再構築を行うことが可能となる。

※見通しをもたせる工夫

20分

- ・ 一人で考える
- ・ 友達のスライドを見る
- ・ 直接聞きに行く
- ・ 複数人で相談

5分

- ・ 友達の意見にコメントも可

5分

- ・ もう一度自分の意見を考える

・ 端末や大型提示装置で時間の流れを示すことによって、学習活動の流れが整理され、生徒も見通しをもって学びに向かうことが可能になる。

・ 今後は話合いのポイントや意識することなどの注意点も提示し、話合い活動の質の向上につなげていきたい。

※まとめの工夫（スプレッドシートの活用）

① 「まとめ」シートを開く

② 「11 ごみ箱をもっと増やして」を押す

・ Google スプレッドシートに記入することによって生徒の考えやまとめを蓄積することが簡単になった。

・ 生徒も Google スプレッドシートに記入していくことで、35時間を通して自身の成長や心の変容を実感することができる。

・ データの管理が簡単であり、蓄積したデータを基に、評価につなげることができる。

教材番号は 1 2

③ ここに入力

③ 出席番号のスライドを開く